

# 福島県立郡山北工業高等学校



# 同窓会報 第59号

## 2009

### 校歌

安西金造 作詞  
岩井直博 作曲

一、明け初むる 安積の沃野に

今 時どり 進音高く

朝日に輝く 白亜の母校

これぞ

郡山北工業高等学校

おお 調和の旗のもと

我等 健見

ここに 朗らかに 集いけり

二、暮れなずむ 飯豊の星を

低く見おろし 理想も遙か

八山田が丘 そびゆる学舎

これぞ

郡山北工業高等学校

ああ 創造の意気高し

我等 駿馬

永遠に 未来に 駆け行かん

三、残雪の 安達太良山に

想いも深く 拡がる都市に

不拔の根を張る 学びの高殿

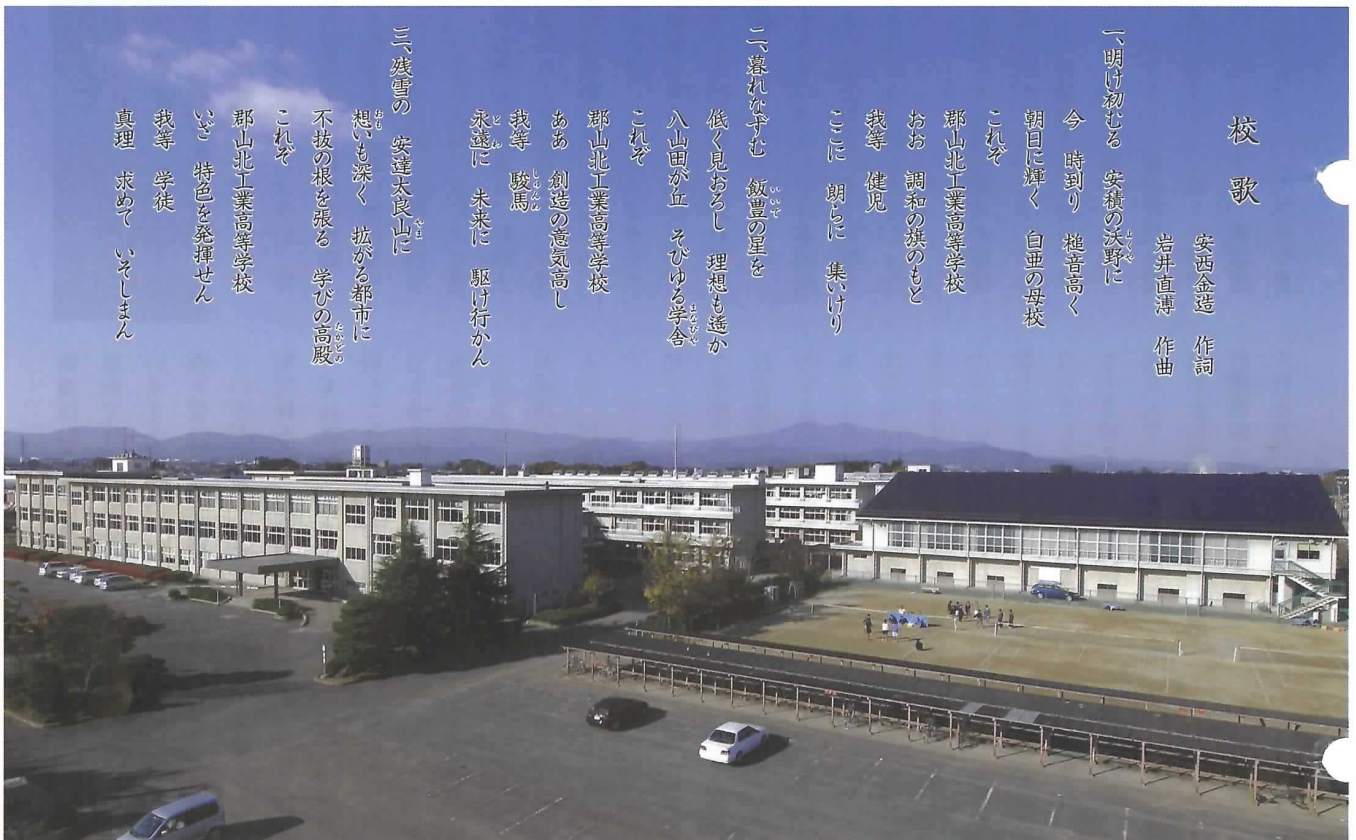
これぞ

郡山北工業高等学校

いっ 特色を發揮せん

我等 学徒

真理 求めて いそしまん



## CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成20年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 パソコン甲子園2008大会出場報告 第54回福島県発明展 福島県知事賞	7
母校近況 (生徒会だより、部活動大会成績報告)	8
母校近況(進路状況)	9
平成19年度決算報告・会務報告	10
平成20年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
写真で綴る部活動、 台湾の高校生との交流 ゴルフコンペ・事務局だより	12

郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

## 定期総会のお知らせ

■平成21年度定期総会を下記のように開催いたします

- 日 時／7月4日(土) ●午後5時00分より 総会  
●午後5時50分より 懇親会
- 場 所／ホテル ハマツ 郡山市虎丸町3-18 ☎024-935-1111
- 会 費／5,000円(平成20年度卒業生は3,000円)

※詳細については事務局へお問い合わせください

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※同封の振込取扱票通信欄の総会参加費に○をつけて参加費を納入して下さい

### ■東京支部総会

- 日時／平成21年6月6日(土)
- 場所／上野 精養軒

### ■日立支部総会

- 日時／平成21年6月27日(土)
- 場所／未定

### ■水戸支部総会

- 日時／平成21年11月28日(土)
- 場所／未定

## 会長あいさつ 「誠実に生きよう」

同窓会会長 増子 久治



同窓会会員の皆様には御健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げますと共に、本校ならびに同窓会に常日頃より物心両面に亘り御協力御指導いただき衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は米国大手証券会社の破綻に端を発した世界同時不況の嵐に日本も巻き込まれてしまいました。第2次世界大戦後、米国の援助により今日の繁栄した日本になったと言っても過言ではありません。高度経済成長長期、アメリカがクシャミをすると日本は風邪を引くと言われておりましたが、実証した形となつてしまいました。知識人には

この米国破綻は予測されたの

ではなかったでしょうか。特段の変化がないのに株価の上昇や物価をはじめ日常の暮らしの生活必需品の異常高騰など、一部の人間の欲により操作されたものであり、砂の上に乗かれたその場凌ぎの安普請の建築物を遠くから眺め、自己の欲により躍らさせられた結果であろうと思います。日本でも10数年前に同じ事を経験しておりますが、今回、日本企業のみならず日本国民さらには全世界にまで影響するとは誰が予想したでしょうか。

連日、非正規労働者の雇用関係が破綻しているというニュースが報道されており、マスコミや国政の場でも議論されております。派遣社員を受入れた企業やメーカーを悪者扱いしておりますが、私は違うと申し上げます。詐欺や悪

徳商法のように当初より騙す目的で行った事なら悪いと思いますが、期間・登録制の説明を受け本人も納得し就労している訳であります。直接雇用関係を結んだ企業ではなく、一部政党やマスメディアを利用して派遣された企業やメーカーを一方的に悪者扱いする無責任な発言をする人を理解できません。最も大事なのは、派遣者の首切りと言っている人は、将来の自分の立場をよりステータスの高い所へ設定せず自分自身を甘やかして来た結果ではないでしょうか。

ダーとして活動されておいでの皆さんには驚嘆させられます。会員の皆様にも是非模範者の一員となるよう願うところであります。

私は同窓会会長として本部総会をはじめ東京、水戸、日立の各支部総会へ出席させていただきまます。その時には、学生時代の話題や昔話で盛り上がりたいと思います。：苦勞と活躍、現在では考えられない旧式な機械・計測機器（当時は最先端と思っていた）等による実習やその当時の先生方の話：若い会員の皆様が先輩諸氏の話に感化され未来を拓こうとする発言等も同窓生だから出来る事、現場の上下関係や利害関係もなく、楽しく、時には職務上のアドバイスや人的交流などもあり心暖まる有意義な総会となるでしょう。会員の皆様、各総会の時には1人でも多く参加していただきたいと願いますところですが、

新会員となられた皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんが本校で学んだことをこれから先役立てて下さい。単に卒業されたのではなく、多くの皆様により支えられて卒業できた事に対し感謝の気持ちを忘れずに下さい。前述のようにこの厳しい時期、実社会へ旅立つ皆様には多くの試練が待っているでしょう。それはいつの時代も同じです。本校で学び培った3年間と「北工魂」で頑張つて下さい。

また、進学される皆さんは物見遊山にならないよう肝に命じていただきたいと思ひます。新会員全員が未来の目標設定をされ、その目標に向かい努力をして下さるよう願うところであります。

これからも「同窓生のための同窓会」となるよう頑張つて参る所存であります。御意見や御希望がありました節には、遠慮せず私なり事務局まで連絡をしていただきたいと思ひます。会員各位の益々の活躍と御多幸を祈念申し上げます。

## 校長あいさつ

## 「卒業生に未来を託して」

校長 兼田 信男



同窓会の皆様方には、日頃より母校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本年も新たに三百有余名を同窓会会員として迎えていただきましてありがとうございます。

さて、昨年の夏、私は同窓会日立支部総会に出席させていただきました。多くの同窓生の活躍ぶりや、直接お聞きする機会を得ました。大企業にあってその人なくしてはその部門が動かないという重責を担いながら活躍している方、一年中忙しく海外事業所との間を往復している方、取締役として事業所を率いている方など、いろいろな方々のお話を伺いました。

本校在学中の思い出なども懐かしく語ってくれましたが、十八歳で学舎を巣立って以来現在に至るまでの間、おそらく、それぞれ人知れず苦労と努力を重ね

ねられたのだらうと推察しました。しかし、苦労したことはおくびにも出さず、語る言葉と表情からは自信が感じられたのです。いろいろな面で世界のどこの国にも引けを取らない今の日本は、この方々が築いてきたのだという気がしました。

ところで、一時期、国内の人員費高騰を嫌って多くの日本企業が中国やベトナムなど人件費の安い国へ生産拠点を移すという動きがはまりました。株やインターネットビジネスで儲けるのがかっこいいと持てはやされたこともありました。これには若者が汗にまみれての「ものづくり」を敬遠する傾向が一部に見られたことも拍車をかけた面がありました。幸い、その後これらの風潮はやや軌道修正されてきたように思います。

そして現在世界は大変な不況に見舞われています。これは、一昨年アメリカで顕在化したサブプライムローンの焦げ付きに起因する信用不安が昨年のリーマンブラザーズの破綻につながり、ついに世界中の経済が大混乱する事態にまで発展してしまっただけというものです。この経

済混乱の過程で、金融立国を目指すし、ものづくりを軽んじてきた一部の国々が、とてつもない手痛い打撃を受けたことがわかりました。

明治の開国以来、資源を持たない日本は工業立国の道を歩み、貿易で発展してきたわけですが、今の事態を見ればこれからも日本は工業立国でいくべきだと考えます。日本がものづくりをやめてしまつては日本の将来はありません。第一次産業と第二次産業がしっかりと基盤を固めていて初めて第三次産業の繁栄があるのだと思います。

もちろん、どの産業も従来の延長線上にそのままいられるとは思いません。必ず何らかの変革が求められるでしょうし、そうでなければ淘汰されるでしょう。こんな時こそ工業高校卒業生の活躍が期待されるところだと思っております。

私は、今回新たに同窓会会員として迎えていただいた三百有余名の卒業生が、二十年後、三十年後に、先輩の同窓生の方々と同様それぞれの分野で必ず活躍してくれるものと信じ、大きな期待を寄せています。初々しい彼らが、やがて、たくましく成長できるよう、先輩同窓生の方々の温かいご指導とご援助をお願い申し上げます。

## 新会員のことは

情報技術科  
鳴貫 旦

今年度、私達は郡山北工業高等学校同窓会に入会します。それはこの学校を卒業し先へ進む私達にとって、嬉しくもあり不安でもありません。私達は郡山北工で学んだ様々な経験のおかげで、今の自分が在ると考えています。この経験があるからこそ私達は先へ進むことができるのです。それはとても喜ばしいことです。しかし、慣れ親しんだ学校を去る寂しさは、私達皆同じ気持ちです。

同窓会に入会することは、郡山北工卒という看板を背負うこととなります。同時に、同窓生の先輩方と私達卒業生、また在校生との繋がりが深く保たれ続いて行くこととなります。卒業後はそれぞれの道を歩んでも、私達にとつて同窓生の先輩はいつまでも先輩です。今後いろいろなことがあると思いますが、ご指導

宜しくお願い致します。また、私達は後に続く後輩のために少しでも力になりたいと思います。このような先輩、後輩の絆を大切にすることが、これからの郡山北工同窓会を発展させることになると信じます。それを実行するためにひとりひとりが、自分自身の道へ向かって努力していくことが大切だと思います。卒業生の皆さん、これからも更なる努力をして頑張ります。



平成20年度  
**同窓会定期  
総会報告**

平成20年6月21日(土)午後5時から、ホテル ハマツに於いて、平成20年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が160余名の参加を得て開催されました。

**【開会の言葉】**  
古川弘同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を開会しました。

**【会長の挨拶】**  
増子久治同窓会会長より出席の方々に、同窓会に対する理解と協力に対して御礼がありました。

昭和19年の国家動員計画で創立された郡山工業高校時代から、郡山西工業高校との統合で昭和52年に誕生した郡山北工業高校までの経緯を話されました。

「……残念な事に、環境システム科が今年から募集停止



となり、学年7クラス体制になりましたが、同窓会会員は二万二千余名を数え、郡山市発展のために活躍されています。今後は少子化が更に進むが7クラスから絶対的に減らさない様に頑張つて参りたい……」と述べられました。

**【校長の挨拶】**  
兼田信男校長より、同窓会定期総会に対してお祝いの言葉をいただきました。

次に「本校は福島県の工業界はもとより、日本の産業界を支える人材の育成する役割を担つて参りました。その証拠に同窓生が立派に役割を果たして来ました。

……一番多い時で10クラスあつた本校は、4月から環境システム科の募集停止で7クラス体制になりました」と報告されました。

また「生徒達は部活動、資格取得、ものづくり等に学習成果を実践する場で頑張つています。全国工業高等学校長協会が主催しているジュニアマイスター顕彰制度で、平成19年度に於いて本校は全国で20番目、福島県ではトップでした。

……少子化と教育予算の削減で工業高校の環境は厳しい状況であるが、最善の方法で努力して参りたい」と述べられました。

最後に、同窓会の発展と皆様方の変わらぬご支援をお願い

いして話を結びました。

**【支部長代表の挨拶】**

各支部を代表して水戸支部の八代正雄支部長よりご挨拶をいただきました。

「日立支部は毎年、水戸支部は東京支部と同じく1年おきに支部総会を開催している。各支部でそれぞれの行事を催しているが、工場がバラバラ

のため集まるのに苦労している。共通の趣味を利用して同窓会が盛り上げるよう活動している。

水戸支部は昨年11月の支部総会で役員改選を行ったが、来年度は50周年を迎える。盛大に支部総会を開催するために記念誌の発行を予定している。人数は段々と減つて

運営は難しいが、北工卒業生の採用を工場にお願いしている」と話されました。

最後に、北工同窓会の益々の発展とご参会の皆様方のご健勝を祈り話を結びました。

**【議長選出・書記任命】**

事務局一任となり、田母神三知夫前事務局局長より、議長には西工46年度化工科卒の菅井貞夫氏と郡工46年度建築科卒の佐久間保一氏、書記には北工61年度電子科卒の笹島貞夫氏が提案され承認されました。

**【議事】**

平成19年度庶務報告は、田母神三知夫前事務局局長より総会資料に沿つて行われ、会務

報告、新会員報告および職員の平成19年度転出者と平成20年度転入者に関する報告がなされた後、質疑を経て拍手を持つて承認されました。平成19年度決算報告は、阿部昇二前事務局会計によつて行われ、中村弘監事による会計監査報告の後、質疑を経て拍手を持つて承認されました。

平成20年度事業計画案は、田母神三知夫前事務局局長より提案され、質疑を経て拍手を持つて承認されました。平成20年度予算案は、船山卓也事務局会計より提案され、質疑を経て拍手を持つて承認されました。

増子会長より同窓会館の名称変更について学校側に提案されました。続いて、事務局より一般寄付のお願いの旨が皆様にありました。

最後に、増子会長より前会長の滝田孝太郎氏に感謝状が贈られました。

**【閉会の言葉】**

伊勢野敏雄同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を閉会しました。

**【アトラクション】**

今年のアトラクションは、郡山で活動している「混声合唱団ハモル会」の演奏となりました。

指揮者の今泉一八氏より演奏プログラムが紹介され、皆さんが知っている「春の小川」「茶摘み」「故郷」などの唱歌メ

ドレーから始まりました。何歳になつても(平均年齢60歳?)美声を奏でる合唱団に聴き惚れながら、会場の皆さんは静かに耳を傾け、時が経つのを忘れてしまいました。

**【懇親会】**

伊勢野敏雄同窓会副会長の開会の言葉の後、増子久治同窓会会長の挨拶、兼田信男校長の挨拶、来賓祝辞を代表して同窓会相談役の植田英一様、PTA会長遠藤高志様よりご祝辞をいただき、滝田孝太郎同窓会顧問の乾杯のご発声により懇親会に入りました。

また、晴天の中で行われたゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に古川弘同窓会副会長の言葉で懇親会を閉じました。



# 支部だより

## 東京支部



東京支部長 満 小澤

昨年は、北京オリンピックで女子ソフトボールの優勝、他の選手の活躍で日本中がわきました。

また、日本の四人の方のノベル賞受賞など、明るい話題がありました。百年に一度の世界金融恐慌で、日本の景気が失速しつつあります。今年が良い年であることを願うものです。

さて、平成二十一年度郡山北工業高等学校東京支部総会は、次の通りです。

日 時… 平成二十一年  
六月六日(土)  
開始時間… 十六時開会  
会 場… 上野精養軒  
(懇親会十六時三〇分)  
上野駅公園口下車  
徒歩五分です。

ここで、東京支部の歴史を振り返ってみたいと思います。  
第一回を郡山工業高等学校として、昭和四十八年一月二十九日(西暦1973)、旧

国鉄「上野弥生会館」で東京支部総会が開催されました。同年三月五日、母校から学校長、同窓会長、事務局長が上京され、審議検討の結果、東京支部の役員として小野寺昭氏(現顧問、昭和二十三年機械科第一期卒)が委任を受けました。

第二回総会も第一回同様、郡山工業高等学校として、昭和四十九年十一月九日(西暦1974年)、旧国鉄「上野弥生会館」で開催されました。第三回総会も同様に、郡山工業高等学校として、昭和五十二年二月二十七日、会場が変わり中央線東中野駅近くの「日本閣」にて開催されました。

以後、郡工・西工・北工の統合をふまえて、郡山北工業高等学校東京支部同窓会と名称を改めスタートしたわけです。

東京支部総会は  
第1回 昭和五十三年二月五日  
(西暦1978)  
[日本閣]  
第2回 昭和五十四年二月十八日  
(西暦1979)  
[日本閣]  
第3回 昭和五十六年二月六日  
(西暦1981)  
[日本閣]  
第4回 昭和五十八年三月六日  
(西暦1983)  
[日本閣]

第4回から隔年の開催となり、今回十七回目の東京支部総会となります。発足以来、郡山工業時代を含め三十一年の歴史となります。初代から永い間、東京支部長を歴任された小野寺顧問に頼ってまいりました。体調を崩され、小池芳光支部長(昭和二十七年機械科第四期卒)にバトンタッチいたしました。今回、二代目東京支部長小池芳光氏のとを受け継いだ、三代目支部長の小澤満(昭和二十八年建築科二期卒)です。

同窓会の皆さん、集まる所上野の杜で、懐かしい校歌を楽しく、高らかに唄いましょう。

郡山北工業高等学校校歌

明け初むる

安積の沃野に：

郡山西工業高等学校校歌

沸く雲か立つ煙か：

郡山工業高等学校校歌

雲を払ひてそびえたつ：

母校同士の集まりで、

親睦を深めてください。

## 日立支部



日立支部長 正一 丸山

平成21年の新しい年を迎え、同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。世の中が昨年後半からの世界経済の悪化の中で厳しい状況に直面しておりますが、日立支部も例外ではなく、会員一人一人も、その中で仕事を進めて行くという厳しい状況にあります。

同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。世の中が昨年後半からの世界経済の悪化の中で厳しい状況に直面しておりますが、日立支部も例外ではなく、会員一人一人も、その中で仕事を進めて行くという厳しい状況にあります。同窓会活動を進めております。本紙を借りまして、日立支部の活動状況について報告させていただきます。

日立支部は現在、会員数80名(内OBの方30名)で同窓会活動を展開しております。基本的には同窓会会員同士のつながりを更に深くしていくこと、ということを考えて活動を展開しておりますが、現役の方々は職場の中核で活躍されており、先に述べました経済状況の悪化の影響もあり、かなり多忙な日々を送られております。従いまして、どうしても同窓会活動が支部総会、本部総会および他支部総会への参加ということが中心になっております。活動のもう一

つの柱として、減少する現役会員数を何とか増やしていくこと、継続的に新人の日立地区への就職の実現にも力を入れており、今年度も日立支部に1名の新人の方が同窓会員として入会をしていただくことが出来ました。そのような状況下にある日立支部平成20年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

### ①日立支部総会の開催

毎年開催となつております日立支部総会、今年度は6月28日(土)に実施致しました。当日は兼田校長先生をはじめ同窓会本部から増子同窓会本部会長、阿部事務局次長、更には東京支部から小澤支部長、水戸支部から八代支部長、横山副支部長、吉田会計幹事の皆様方多数のご来賓をお招きし盛大に開催いたしました。総会第一部では、恒例により一年間の活動方針と計画に関する内容について討議いたしました。第二部の懇親会では、来賓の方々によるご挨拶および母校の状況報告をいただき、更には各支部の状況についても支部代表の方々にご紹介いただきました。また、前の週に行なわれました本部総会で

の参加エピソードなども荒木顧問よりご紹介いただきました。特に今年度は「大みかブロッコ」に1名の新人が入り、昨年入った3名の若手の方々にも参加してもらい懇親会は新人歓迎会を兼ねた内容となりました。次第に若手が増えてきたということもあり、活気のあつまる明るい懇親会となり、特に若手の方々とはOBの方々との故郷の話や、OBの方々による様々な活動紹介など、例年以上に盛んな内容で終了することが出来ました。

②本部総会への参加

6月21日(土)にホテルハマツで開催されました本部総会には荒木日立支部顧問、丸山支部長、吉田副支部長、白岩事務局幹事の4名参加させていただきました。支部長を担当するようになって、初めての本部同窓会参加でしたが、活発な活動紹介や「混声合唱団ハモル会」の方々による合唱のアトラクションもあり、後日行なわれた日立支部総会でも紹介しました。支部としても刺激を受ける内容で、次回総会には、ぜひ支部役員以外の方々

の参加も要請して参加したいと考えています。本部総会ではたいへん有意な一時を過ごさせていただき、日立支部活動の更なる活性化への思いを感じさせていただきました。以上、平成20年度の活動状況について紹介させていただきましたが、日立支部としましては、従来から継続してまいります支部総会の毎年開催を基本とし、会員同士の情報交換を密にしていけることが可能な場となるような雰囲気作りをさらに進めていき、母校および同窓会本部とのパイプを密にし、支部としての役割を尚一層意義あるものにしていきたいと考えておりますのでよろしく願います。母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄を、そして関係する皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



平成20年度郡山北工同窓会日立支部総会

水戸支部



水戸支部長 八代 正雄

平成二十一年の新春を迎え、お慶び申し上げます。

一昨年も変化に富んだ一年でありましたが平成二十年も更に変化に富んだ一年であったと感じております。「変」と名づけられた平成二十年……。

経済の転変は米国発だった。サブプライムローンに端を発した金融危機がリーマン・ショックで表面化し、石油・食料の暴騰を招いたバブルがはじけ、「一〇〇年に一度」と云われる大混乱となった。

国内でも企業業績が悪化し、「派遣切り」「内定取り消し」など雇用不安が噴き出した。諸問題続出により食への不信が広まる中、街頭での無差別殺傷事件等が起き、社会は暗転した。一方で北京五輪での選手の活躍、ノーベル賞受賞など、輝かしい年でもありました……。

同窓会の皆様は夫々の職場・組織で末永く頑張ってくださいたいと思います。今年こそ景気の上昇と災害のない穏やかな年になりますようお願い申し上げます。

祈り申し上げます。

さて、平成二十年度の水戸支部の活動と平成二十一年度の予定について報告します。

●四月二十三日

幹事ブロッコ

引継ぎ・第一回理事会開催

●六月二十一日

本部総会出席

(八代支部長、山崎顧問、加藤理事長)

同日のコンペに三名参加

(八代、山崎、橋本盛)

●六月二十八日

日立支部総会出席

(八代支部長、横山副支部長、吉田会計幹事)

●八月五日

第二回理事会開催

(参加者九名)

●十月 支部行事予定

都合により中止

平成二十一年度の予定

●二月 第三回理事会開催

水戸支部五十周年記念行事・記念誌発行と支部総会の開催など打合せ

(記念誌 発行打合せは月一回開催)

●五十周年記念誌発行会議

三・四・五・六・七・八・

九・十・十一月 各一回開催

●六月 東京支部総会出席

日立支部総会出席

●七月 本部総会出席

●八月 本部コンペ参加 行事打合せ

●十月 行事開催

●十一月か十二月

五十周年記念行事

と総会開催

最後になりましたが母校の益々のご発展と、同窓会のご発展、ご繁栄、そして同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

本格派中国料理

# 龍宮城

代表取締役社長 橋本 正喜  
(昭和42年度機械科卒)

安積店 / 〒963-0107 郡山市安積4丁目38  
TEL(024)946-3171 FAX(024)946-3107

西ノ内店 / 〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9  
TEL(024)939-4649 FAX(024)939-4655

http://www.ryugujyo.co.jp/  
E-mail info@ryugujyo.co.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

印刷会社の  
ヨシダコーポレーションです。

■ISO 14001……2003年6月25日取得 ●FSC認証紙  
●大豆油インキ  
■FSC(CoC)認証 ……2005年1月20日取得 ●水なし印刷

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション

## 株式会社

# ヨシダコーポレーション

〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1  
TEL(024)942-0005(代) FAX(024)942-2233  
URL http://www.media-yoshida.co.jp

## 第6回全国高等学校 パソコンコンクール 「パソコン甲子園2008」

この度は、同窓会報特集としてパソコン甲子園への取り組みを掲載させていただきます。誠にありがとうございます。紙面をお借りし、全国大会出場までの生徒達の活動について紹介いたします。今年で6回目となるパソコン甲子園は、全国の高校生および高等専門学校を対象に情報処理技術のアイデアと表現力・プログラミング能力等を競い、生徒自身のスキルアップと情報化社会を支える人材の裾野を広げることを目的とした福島県主催の大会です。競技はプログラミング部門とデジタルコンテンツ部門に分けられ、今回は情報技術科2年生の6名がプログラミング部門に挑戦しました。2名1チームで参加するプログラミング部門は、年々参加チーム数が増え今年度は39都道府県から358チームの参加となりました。このうち、得点上位の10チームと地域性等を考慮して選出された10チームの合計20チームが、会津大学で行われる本選に出場することができました。予選は各学校で制限時間3時間の間に難易度の異なる10問の問題の解答プログラムを作成し、インターネットを使って提出します。問題は数学的な問題やパズルのような問題まで様々です。プログラミングは授業において取り組まれているものの問題を解くためには不十分であるため、生徒達は放課後遅くまでプログラムだけでなく数学の学習に熱心に取り組んでいました。互いに教えあい、悩みながら問題に挑み、1つの問題に2、3日かかることもあ

りましたが、自分の力だけで解決したときの喜びはとて大きく、自信へとつながっていったようです。結果、情報技術科2年の秋山俊と澤井秀仁が見事予選を勝ち抜き、本選への出場権を得ることができました。

11月8日(土)に会津大学で行われた本選では、予選と同じように難易度別に配点された12問の問題を制限時間4時間の中で解答し、合計得点の高いチームが上位となります。成績は満足いくものではありませんでしたが、全国レベルの生徒とふれあえた貴重で有意義な時間であったと思います。また、この日の夜に行われた選手等交流会では、福島県代表として乾杯の首頭をとる機会もいただき、知識だけでなく人間的にも大きく成長したように思えます。

大会後、既に生徒達は来年への課題を見つつけ、さらに高い目標に向かって自分自身のスキルアップに励んでいます。プログラムというものがづくりに熱中し、作り上げる喜びを感じながら生徒達の挑戦は今も続いています。

情報技術科 指導者 佐藤 孝則



会場前にて



本選の様子

## 第54回福島県発明工夫展 福島県知事賞受賞報告

この度は、電気部2年の古川浩・要田駿の製作した、電線被覆剥ぎ器「Cu(か) ッパギくん」が福島県発明工夫展において最高賞である県知事賞を受賞したことを報告いたします。

発明工夫展とは創作性の育成を目的に毎年開催されているもので、小学校で夏休みの宿題として参加した記憶のある方もいるかと思いますが、参加資格は小中高校生となつていますが、学年が上がるにつれ参加が少なくなつており、県展の出品数で見ると小学生が207点、中学生が61点、高校生が3点となつています。

今回の作品は屋内電気工事で使用するIV・VVVF電線のビニル絶縁被覆から銅線部分を引き抜く機械で、誰でも簡単に使用することが出来ます。命は銅(Cu)線の皮を剥ぐ機械から、かつぱぎくんとなりました。

電気科では全員が電気工事士の資格試験を受験しますが、この試験では筆記試験の後に実際の屋内配線の一部を小さくして製作する実技試験があります。試験前に学校で十分に練習を積んでいます。この際に30cm程の電線が大量に発生します。再利用用途も無いため産業廃棄物としてお金をかけて廃棄しています。

「混ぜればゴミ、別ければ資源」というように「Cu ッパギくん」は練習で発生する屑電線を誰でも簡単に「銅」と「ビニル」に分けることができるので、銅が有価資源となり処理費用も必要なくなり、廃棄ではなくなりサイクル

へつなげる作品となりました。

製作には放課後や長期休業中の期間を使い、慣れない旋盤などの加工機械を使用し、真鍮やアルミの加工を行い、試作を繰り返して、1つの完成品を作る苦勞を肌で感じていました。

製作した作品は郡山市と福島県の発明工夫展で最高賞を受賞しTVや新聞でも取り上げられました。TVを見た企業からの問い合わせもあり、自分たちが製作した作品が認められたことにより生徒も大きな自信が得られたようでした。

工業高校において課題研究などでもオリジナリティ溢れる作品が作られています。が「ものづくり教育」を発信する場として発明工夫展に色々な可能性を感じることが出来ました。これからも継続して参加できるように頑張りたいと思います。

電気部顧問 松山 卓也



授賞式



県知事賞を受賞した電線被覆剥ぎ器「Cu(か) ッパギくん」

# 生徒会だより

## 今年度の生徒会活動状況を報告します

入江 格

今年度も高校総体や県総体、新人大会で多くの部活動が上位大会へ出場し活躍しました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

四月に対面式や部活動紹介、生徒会総会を行い新入生を迎え、七月には第三十二回校内球技大会が行われました。あいにくの天候だったため体育館内の種目となりましたが、たいへん盛り上がり白熱した試合が展開されました。

九月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長には電子科二年の今泉吉里が就任し、以下十五名の新役員を迎え、十六名のメンバーで新たなスタートを切ることとなりました。

一月には吹奏楽部による第二十六回定期演奏会が郡山市公会堂において催されました。生徒会役員も準備段階から協力し、演奏会は大成功のうちにより終わりました。

また「ロボット競技大会」や「ものづくりコンテスト」等でも全国大会や東北大会などで活躍し、運動部だけでなく文化部も活発に活動しました。

今年度を振り返ると文化部、運動部ともに活躍がめざましく、日頃の練習の成果を十二分に発揮したと思います。来年度に向けて新たなスタートを切り、生徒会活動をより活発に行きたいと考えています。



“電気の素敵を、見つけたい”  
**EDISON**

**株式会社 エディソン**

代表取締役社長 壁谷 沢 忠夫

〒963-8878 福島県郡山市堤下町13番8号  
TEL:024-922-3333 FAX:024-922-0995  
URL <http://www.k-edison.co.jp>



シーリング・防水資材販売  
省力化機器設計、製作

**ヒッツマテリアル株式会社**

代表取締役 笹山 仁  
常務取締役 笹山 真宏 (西51電)  
専務取締役 笹山 忠昭 (北53機)

福島県郡山市笹川二丁目1番地の4  
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804

## 平成20年度

# 部活動大会成績報告

H21.1.30現在

### バレーボール部

・第54回福島県高等学校体育大会…………… 第2位

### 野球部

・第60回秋季東北地区高等学校野球福島県大会…………… 出場

### 弓道部

・第27回全国高等学校弓道選抜大会…………… 出場  
・東北選抜弓道大会…………… 出場

### 陸上競技部

・第61回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 110mH …… 須田 毅 出場  
・第61回全国高等学校陸上競技対校選手権大会  
東北地区予選会 110mH …… 須田 毅 第4位  
平野・菅井・佐藤・清水 …… 4×100mリレー …… 準決勝進出

### 水泳部

・平成20年度全国高等学校総合体育大会 200m自由形 伊藤 駿 …… 出場  
100m背泳ぎ 阿部哲也 …… 出場  
・第56回東北高等学校選手権水泳競技大会 200m自由形 第5位 …… 伊藤 駿  
100m背泳ぎ 第3位 …… 阿部哲也  
200m背泳ぎ 第5位 …… 阿部哲也  
・第16回東北高等学校新人水泳競技大会 100m背泳ぎ 第2位 …… 阿部哲也

### ソフトテニス部

・平成20年度全国高等学校総合体育大会  
男子個人 福本和生・石川佑樹組 第3回戦進出  
・平成20年度東北高等学校選手権大会  
男子個人 福本和生・石川佑樹組 第2回戦進出  
丹治 渉・八重幡僚組 …… 出場  
・第54回福島県高等学校体育大会 男子団体 …… 第3位

### ソフトボール部

・平成20年度全国高等学校総合体育大会…………… 出場  
・第27回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会…………… 出場

### サッカー部

・U-18福島県サッカーリーグ2008…………… 第2位

### スピードスケート部

・第54回福島県高等学校体育大会 1500m 第2位 …… 渡辺 奨  
・第61回福島県総合体育大会 1500m 第1位 …… 佐藤大輔

### 吹奏楽部

・全日本マーチングコンテスト 第21回東北大会…………… 銅賞

### コンピュータ部

・第54回全国高等学校ロボット競技大会…………… ベスト16  
・第15回福島県高等学校ロボット競技大会 チーム名「一機当千」 …… 第1位  
チーム名「古今独歩」 …… 第3位

### 囲碁将棋部

・第32回全国高校囲碁選手権大会福島県大会…………… 男子団体 …… 第3位

### 機械部

・第20回全日本ロボット相撲東北大会…………… ベスト16

### 電気部

・第67回 全日本学生児童発明くふう展…………… 恩賜記念賞  
・第54回 福島県発明展…………… 県知事賞

### その他

・パソコン甲子園2008 情報技術科 秋山 俊 澤井秀仁 …… 本選出場  
・高校生ものづくりコンテスト2008 東北大会 化学分析部門 助川直人 …… 第2位  
電気工事部門 宮下直紀 …… 出場  
・高校生ものづくりコンテスト2008 福島県大会 電気工事部門 遠藤賢一 …… 第1位  
旋盤部門 坪井勇磨 …… 第1位  
化学分析部門 荒井 涼 …… 第3位  
木材加工部門 佐藤 景 …… 第3位



# 進路状況

## 苦難を乗り越える心を養う

進路指導主事 遠藤 仁一

今年度の本校生の進路希望状況は二〇二名が就職、一〇八名が進学となっており、就職は製造業と建設業が全体の八割を占め本校で学んだ専門性を生かした企業を選択しています。地域別では県内就職者が約八割で地元志向が強いようです。また進学は日本大学工学部、福島大学、会津大学等を初めとして理工学系への希望者が多い中、四年制大学の割合が減り専門学校への進学が増えました。それぞれの進路先での活躍を期待すると共に、早期離職・退学がないことを願っております。

平成一九年度までの卒業生総数は二二、三九七名となりました。それぞれが自分の将来に期待と不安を持ちながらも社会に羽ばたいていきました。同窓生の方々が多方面で活躍しているおかげで、企業の方から勤務態度にお褒めの言葉をいただき、進路を決定する際の励みになっております。感謝申し上げます。

本校の教育は調和のとれた人間、想像力のある豊かな人間、特色のある人間を目指して知識や技術の習得、スポーツに力を入れ社会に役立つ立

派な工業技術者を育てることを目標としています。高校に入学をして卒業するまでの三年間には、学校生活を通して様々な事を経験し、人間的に成長していきます。こうした中で、自分で進路を決定し、コミュニケーション能力を向上させ、自己の能力を社会に還元する意欲を持つこと等が

ところで、校内で挨拶が苦手な生徒を目にしますが、進路指導室に来校する企業の方に求人における生徒の希望人物像を尋ねると、ほとんどが「コミュニケーション能力のある生徒がほしい」と話されます。仕事を円滑に進めるためには、挨拶ができ、自分の考えをしっかりと持ち行動することが必要です。企業に合った必要な知識や技術は入社後でも習得することができま

すが、コミュニケーション能力を高めることは直ぐにはなかなかいかないものです。世界的に不況の風が吹いており自動車を始めとした輸送機器・電機等の製造業界も特に厳しい状況です。この状況を北工生が生き抜くためには社会の望む人材を目指すことが必要です。

「苦難は幸福に至るための関門である」いまだからこそ苦難を乗り越える心を養うことが大切です。

苦難を乗り越える心を養うことが大切です。

### 平成20年度 進路内定状況

#### 4年制大学・短大合格状況(過去3年間)

大学名	平成18年	平成19年	平成20年
山形大学 工学部	2	4	2
福島大学		3	1
会津大学	2	3	1
洗井学園大学	1		
八戸大学		1	
東北工業大学		1	1
東北学院大学		1	
福島学院大学			1
日本大学 工学部	39	33	31
奥羽大学			1
いわき明星大学	1	5	4
東日本国際大学		1	
足利工業大学	1	1	
日本工業大学	1	1	3
千葉工業大学	1		1
東京工科大学	1		
作新学院大学	1		
文教大学		1	
平成国際大学	1		1
東洋大学	2	2	
国土館大学	2		1
国際医療福祉大学		1	
東京電機大学			1
城西国際大学	1	1	
駒澤大学	1		
流通経済大学	1		
関東学院大学	1	1	
関東学園大学		1	1
立正大学	1		
白鷲大学	1		
江戸川大学		1	
城西大学		2	
神奈川工科大学	1	3	3
尚美学園大学	1		
京都学園大学			1
帝京平成大学			1
東北芸術工科大学			1
ものづくり大学			1
秋田公立美術工芸短期大学			1
つくば国際短期大学		1	
常盤短期大学		1	
桜の聖母短期大学		1	1
郡山女子大学短期大学	2		1
福島学院大学短期大学	1		
群馬社会福祉大学短期大学部			1

#### 準大学・訓練校・専修各種学校(20年度)

大学名	平成18年	平成19年	平成20年
関東職業能力開発大学校	1	1	3
浜高等技術専門学校		1	1
会津高等技術専門学校		1	1
職業能力開発総合大学東京校		1	1
日本自動車大学校	1		
赤門自動車整備大学校	1		
郡山職業能力開発短期大学校	9	6	9
国際情報工科専門学校	7		5
国際アートデザイン専門学校	2		1
福島医療専門学校	3		
郡山健康科学専門学校	1	2	2
ケイセン公務員ビジネス専門学校	1	3	3
日本調理技術専門学校	1		1
福島県高等理容美容学院	1		
郡山ヘアメイクカレッジ	3	1	
東北電子専門学校	1		2
宮城理容美容専門学校	1		
仙台医療福祉専門学校	1		
日本工学院専門学校	1		1
日本工学院八王子専門学校	1		1
東京ネットウエイブ	1		
東京ゲームデザイナー学院	1		
トヨタ東京自動車大学校	1		1
東日本航空専門学校	1		
東京リノースポーツ専門学校	1		
大原簿記情報ビジネス専門学校	1		
大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校	1		
音響芸術専門学校	1		
仙台電波工業高等専門学校		1	
ESPギタークラフト専門学校	1		
白十字看護専門学校	1		
太田医療技術専門学校	1		
新東京歯科衛生士学校	1		
日本菓子専門学校	1		
辻料理専門学校	1		
埼玉福祉専門学校			1
東北歯科専門学校	1		
山野美容専門学校	1		
ハンサム銀座理容美容専修学校	1		
鮮文大学韓国語教育院	1		
クイーンズネイルアカデミー	1		
全日本ウインタースポーツ専門学校			1
東京アナウンス学園			1
東京観光専門学校			1
東京コミュニケーションアート専門学校			1
東放専門学校			1
東洋公衆衛生学院			1
日産栃木自動車大学校		2	1
日本デザイナー芸術学院仙台校			1
日本電子専門学校			1
日本ナレーション演技研究所			1
東日本航空専門学校			1
国際ビューティファッション専門学校			1

#### 進路内定状況

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部  
平成21年1月31日現在 ( )は女子内数

科・組	機械	電気	電子	情報	建築	環境	化工	合計
在籍数	80 (2)	39 (0)	37 (2)	40 (7)	39 (5)	38 (6)	39 (11)	312 (33)
就職希望者数	55 (0)	31 (0)	27 (0)	14 (3)	24 (4)	30 (5)	21 (5)	202 (17)
就職内定数	44 (0)	25 (0)	19 (0)	9 (2)	15 (3)	24 (5)	13 (4)	149 (14)
県内	44 (0)	25 (0)	19 (0)	9 (2)	15 (3)	24 (5)	13 (4)	149 (14)
県外	7 (0)	5 (0)	4 (0)	4 (1)	8 (1)	5 (0)	6 (0)	39 (2)
公務員	2 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)
緑故自営等	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (0)
合計	54 (0)	31 (0)	27 (0)	14 (3)	24 (4)	30 (5)	20 (4)	200 (16)
就職未定	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)
進学希望者	25 (2)	7 (0)	10 (2)	25 (4)	15 (1)	8 (1)	18 (6)	108 (16)
進学内定数	9 (0)	2 (0)	4 (0)	17 (1)	12 (0)	5 (0)	8 (3)	57 (4)
短大	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (3)
準大学	6 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (1)
訓練校	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
専門	8 (1)	2 (0)	5 (0)	5 (2)	0 (0)	3 (1)	8 (2)	31 (8)
合計	25 (2)	7 (0)	10 (2)	25 (4)	15 (1)	8 (1)	17 (6)	107 (16)
進学未定	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
その他(不定)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
総計	80 (2)	39 (0)	37 (0)	40 (7)	39 (5)	38 (6)	39 (11)	312 (33)

#### 産業別内定状況

科	機械	電気	電子	情報	建築	環境	化工	合計
産業別	県内	県内	県内	県内	県内	県内	県内	県内
農林								0
01								0
建設		8			5	5	1	13
06~08								7
製造	44	6	13	2	17	4	4	5
09~32								21
電気ガス		1	2	1				2
33~36								2
情報通信				1				1
37~41								0
運輸通信		2	1			1	1	2
42~48								3
卸・小売				1				1
49~50								3
金融・保険								1
61~67								0
不動産業						2		0
68~69								2
飲食・宿泊					2			0
70~72								0
医療・福祉								0
73~75								0
教育・学習支援								0
76~77								0
福祉サービス						1		1
78~79								0
サービス業	1	1	2	1	3	4	2	13
80~84								4
公務		2		3	1			6
95~96								0
分類不能の産業								0
99								0
合計	45	9	26	5	20	7	9	154

### 平成19年度 決算報告

1 収入総額 4,452,794円      2 支出総額 4,256,641円      3 差引残高 196,153円

#### 1.収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	229,557	229,557	0	
入会金	1,920,000	1,920,000	0	入学生320人×6,000
会費	1,854,000	1,854,000	0	卒業生309人×6,000
会誌広告料	140,000	199,895	59,895	10社
一般寄付	300,000	247,390	△52,610	
雑収入	444	1,952	1,509	預金利息
合計	4,444,000	4,452,794	8,794	

#### 2.支出の部

項目	予算額	決算額	残額	備考
基本金	377,400	377,400	0	入会金・会費総額の1割
会議費	420,000	403,392	16,608	三役会 幹事会
事務費	40,000	30,081	9,919	事務用品等
慶弔費	70,000	49,095	20,905	香典等
通信費	1,550,000	1,537,495	12,505	会報(58号)発送費等
旅費	280,000	270,240	9,760	本部 東京 日立 水戸
会誌編集費	700,000	691,740	8,260	会誌(58号)印刷
渉外費	60,000	56,255	3,745	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	200,000	198,055	1,945	卒業記念品 会長賞
事務局費	60,000	55,500	4,500	事務局会会議費
化粧品	50,000	50,000	0	学校祭補助
支部助成金	180,000	180,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	50,000	49,476	524	学校案内印刷
総会費	300,000	273,388	26,612	総会補助
予備費	106,600	34,524	72,076	会報発送費追加分等
合計	4,444,000	4,256,641	187,359	

3. 差引残額¥196,153 は次年度へ繰り越します。

### 平成19年度 基本金報告

定期預金(～18年度)	4,163,525 円	大東銀行定期預金
平成19年度基本金	377,400 円	大東銀行定期預金
合計	4,540,925 円	

### 平成19年度会計監査報告

平成20年4月4日の監査の結果、異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大  
中村 弘  
笹山 忠 昭

### 平成19年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H19 4.9 21	平成19年度入学式 第1回 幹事会	会長、副会長 出席 平成19年度定期総会について	学校 郡山ビューホテルアネックス
5.19	第1回 三役会	平成19年度定期総会および役員改選について	郡山ビューホテルアネックス
6.1 6.2 9 23	第2回 幹事会 東京支部総会 日立支部総会 平成19年度定期総会	平成19年度定期総会について 校長、会長、事務局 計3名出席 校長、会長、事務局 計3名出席	龍宮城 上野 精養軒 日立市 郡山ビューホテルアネックス
8.6	第2回 三役会	定期総会決算報告および新幹事の委嘱について 平成20年度定期総会会場にて	龍宮城
9.21	第3回 幹事会	定期総会反省会、新役員紹介 第58号同窓会報について	ホテルハマツ
11.5 22	臨時 幹事会 第4回 幹事会	環境システム科の募集停止について 今後の活動方針について (平成20年度定期総会、同窓会報の内容等について)	同窓会館 郡山ビューホテル
24	水戸支部総会	教頭、会長、事務局 計3名出席	ひたちなか市
H20 2.27 29	同窓会報(58号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長 出席	学校
3.1 3.15 4.4	平成19年度卒業式 同窓会報(58号)発送 会計監査	会長、副会長 出席 平成19年度会計	学校 龍宮城

### 平成19年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和25年4月～平成20年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,336名 電気科 2,281名 電子科 1,232名 情報技術科 1,155名 建築科 1,228名 環境システム科 423名 化学工学科 2,262名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月開課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 12,590名
合計 22,397名		

### 職員異動報告

#### 平成20年度人事異動にともなう転入者

No.	職名	氏名	教科	前任校
1	校長	兼田 信男		喜多方工業高校
2	教頭	菊池 晃	(化工)	川俣高校
3	教諭	岡田 哲夫	国語	田村高校
4	教諭	竹内 章	数学	新採用
5	教諭	入江 格	体育	岩瀬農業高校
6	教諭	上杉 則夫	機械	清陵情報高校
7	教諭	猪狩 俊夫	化工	勿来工業高校
8	実習教諭	佐々木 郁雄	機械	福島工業高校
9	養護教諭	小柴 知恵美	養護	須賀川桐陽高校
10	常勤講師	吉田 絢子	数学	
11	再任教諭	安田 博	数学	
12	再任教諭	村越 宗平	理科	
13	常勤講師	飯塚 誠	建築	

#### 平成19年度人事異動にともなう転退職者

No.	職名	氏名	教科	転出先
1	校長	小菅 富士雄		退職
2	実習教諭	達崎 守	電気	退職
3	実習教諭	根本 光男	機械	退職
4	実習教諭	宮部 正吉	機械	退職
5	教頭	根本 和次	(電気)	白河実業高校
6	教諭	鈴木 倫子	国語	郡山萌世高校
7	教諭	菅野 優子	数学	二本松工業高校
8	教諭	大鹿 啓子	理科	郡山萌世高校
9	教諭	岸波 重幸	化工	勿来工業高校
10	養護教諭	鈴木 二美恵	養護	須賀川高校
11	再任教諭	森 義彦	数学	退職(須賀川高校)
12	常勤講師	渡部 信人	体育	退職(須賀川高校)
13	常勤講師	稲垣 博司	機械	退職
14	常勤講師	本間 隆	建築	退職
15	時間講師	深田 茂	美術	退職(日大東北)

### 平成19年度 新会員報告

科	人数
機械科	79名
電気科	40名
電子科	37名
情報技術科	40名
建築科	39名
環境システム科	36名
化学工学科	38名
合計	309名

### 株式会社 東北セイワ

DO AMENITY ビル総合管理 株式会社 東北セイワ  
代表取締役 森田 徹  
本社/福島県郡山市堤三丁目186番地  
TEL 024-952-8355 FAX 024-952-8377  
E-mail:t-seiwa@topaz.plala.or.jp  
http://www.hkr.co.jp/tohokuseiwa

ビル総合管理 冷暖房機器保守管理・工事  
建築物設備管理保全業務 空調機器保守管理・工事  
消防防災設備保守管理・工事 省エネルギー工事  
特殊建築物調査/建築設備検査 節水システム販売・工事  
建築物環境衛生管理業務 防犯設備/住宅火災警報器  
水道工事/管工事 造園設計施工

マイクロバス(25人・29人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)・乗用車  
ライトバン・トラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・4t)・3t積車載車  
冷凍冷蔵庫(2t・3t)の御用命は……

有限会社 郡山中央レソタカー  
あいおい損害保険代理店

代表取締役 渡邊 俊彦  
郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3  
☎(024) 924-0844・932-8828  
FAX(024) 934-5334 〒963-8061  
URL:http://www.kcr.jp

## 平成20年度 同窓会役員名簿

	氏名	勤務先	卒年度科
相談役	植田英一	前県議会議員	
顧問	渡辺達英	(有)渡達	郡24機
〃	滝田孝太郎		西42電
会長	増子久治	田村通信防災工業(株)	郡42定電
副会長	古川弘	(有)古川弘建築設計室	郡40建
〃	橋本正喜	中国龍宮城	西42機
〃	伊勢野敏雄	(株)うすい百貨店	西43電
監事	加藤和夫	(社)福島県計量協会	郡26機
〃	中村弘		西49電
〃	笹山忠昭	ヒツマテリアル(株)	北53機

幹事	落合弘		郡32機
〃	佐藤実	佐藤実建築設計事務所	郡33建
〃	石田秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡39定機
〃	渡辺俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡40定機
〃	渡辺千尋	あさか開成高等学校	西43化工
〃	柳沼隆夫	郡山市議会議員	西45機
〃	佐久間保一	結建築研究室	郡46建
〃	今井久敏	福島県議会議員	西46機
〃	渡辺正一	福島工業高等学校	郡49工化
〃	柳沼信一	(有)県南通信サービス	西49電
〃	竹中広之	(有)竹中電気	郡50定電
〃	大内菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡51定電
〃	吉田典秀	林精器製造(株)	北52機
〃	小椋山伸一	郡山地方広域消防組合	北53機
〃	長尾進	福島トヨタ自動車(株)	北53機
〃	吉成広幸	JT郡山工場	北53機
〃	斎藤均	JT郡山工場	北53機
〃	大原英雄	(株)東日本総建	北53化工
〃	今泉恵一	(株)PMCテクニカ	北54電
〃	熊田晃大		北54建
〃	田母神一吉	(有)テクノス	北54建
〃	影山春男	勿来工業高等学校	北56電
〃	浦井照夫	福島工業高等学校	北59機
〃	國道美行	二本松工業高等学校	北59機
〃	渋谷健夫	(有)シブヤ	北62機
〃	浦山哲哉	ポルト有限公司	北63電
〃	今泉健太郎	(株)香設計	北1建
〃	宗方信恵	(株)日本デジタル研究所	北6子
〃	大内幸恵	(有)桑原工務店	北6建
〃	千葉祐子	大明通産(株)東北支店	北6建
〃	小林吉行	(有)ウェルコスモ	北6建
〃	小林剛	(有)ワタナベ塗装	北7建

運動部常任幹事	国分常弘		北53建
バレー部幹事	佐藤伸宣	関彰商事(株)	北61化工
サッカー部幹事	高橋雅志	ソニーエナジーデバイス(株)	北18機
ソフトテニス部幹事	柳沼孝志	郡山養護講師	北14機
ソフトボール部幹事		(勤務先あいうえお順)	

〃	三本木寛	(株)朝日ラバー	北62機
〃	橋本孝行	石橋工業(株)	郡50機
〃	宗像文雄	(株)エディソン	郡50電
〃	平栗俊昭	郡山ビューホテル(株)	北52工化
〃	本田昇意	コマツ福島(株)	北54機
〃	橋本政夫	(株)ザイン	北55機
〃	佐藤芳晴	須賀川プレジジョン(株)	北54機
〃	鈴木義崇	(株)セイフティープラン	北16電
〃	郡司昌幸	田村通信防災工業(株)	北11電
〃	千葉利行	日本化学工業(株) 福島第一工場	西42電
〃	柳沼幸代	八光建設(株)	郡51建
〃	青木博泰	林精器製造(株)	北52機
〃	岩崎洋一	ハマツ観光(株)	北61建
〃	七海孝夫	ヤマキ電気郡山事業所	北53電
〃	菅井貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西46化工

クラス代表幹事	関川大輝	日本電産コナル(株)	北18機
H18卒代表幹事	安齊健太	(株)エヌケー製作所	北18環
H19卒代表幹事	松岡直道	AGCエレクトロニクス(株)	北19情
〃	矢吹良昭	松下電工(株)	北19機

事務局 局長	柳沼善久	郡山北工業高等学校	郡51子
事務局 次長	阿部昇二	郡山北工業高等学校	郡51子
〃	本田文一	郡山北工業高等学校	北52子
会 計	船山卓也	郡山北工業高等学校	北01電
事務局 員	田母神三知夫	郡山北工業高等学校	郡43機
〃	熊田志郎	郡山北工業高等学校	郡49工化
〃	笹島貞夫	郡山北工業高等学校	北61子
〃	塩野学	郡山北工業高等学校	北11環

同窓会支部長	小澤満		郡28建
東京支部長	丸山正一	(株)日立製作所	郡48電
日立支部長	八代正雄		郡34電
水戸支部長			

## 平成20年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

敬称略

氏名	卒年度科	氏名	卒年度科		
宗形孝至	郡37機	神奈川県	武藤次雄	北旧職員	郡山市
外山浩	郡旧職員	いわき市	関勝彦	郡40機	千葉県
遠藤隆尚	北10電	東京都	佐藤宏文	北58機	須賀川市
阿部茂	郡42子	茨城県	北原正三	旧北校長	福島市
岩越銀三	北旧職員	白河市	川合文雄	郡33機	静岡県
安藤和美	西44電	埼玉県	波平克己	郡34機	千葉県
荒井照夫	郡39工化	群馬県	酒井利夫	郡47建	神奈川県
伊藤孝雄	郡31機	郡山市	坂本守	郡35機	郡山市
星田実則	郡39機	郡山市	柳沼喜七	郡40建	神奈川県
横田一彦	郡旧職員	郡山市	小池勝衛	郡34機	神奈川県
水野信彦	郡25機	愛媛県	有賀常民	郡37機	埼玉県
橋本勝幸	郡42定機	茨城県	渡辺正春	郡48建	千葉県
高原三郎	郡27機	愛知県	小山良一	郡33建	神奈川県
増子久治	郡42電	郡山市	野村正直	郡39工化	千葉県
高木洋一	郡29機	埼玉県	矢吹務	郡22機	福島市
平岡信栄	郡41機	岡山市	鈴木七郎	北旧職員	郡山市
相馬克巳	郡36子	岡山県	坂野勇一	郡23機	東京都
八代正雄	郡34電	茨城県	猪狩次夫	旧北校長	福島市
鈴木功	郡30機	東京都	小池芳光	郡27機	神奈川県
遠藤神雄	郡31建	埼玉県	石井茂	郡29機	茨城県
鹿又長治	北旧職員	田村市	吉成誠一	北62機	東京都
橋本光正	郡36機	三重県	伊藤孝志	郡45機	埼玉県
本田良三	西49機	郡山市	岡本勇夫	郡35電	東京都
畑吉春	郡29機	東京都	鈴木彰宏	郡48機	宮城県

※順不同

### 一般寄付のお礼とお願い

第58号会報の発送に併せて一般寄付のお願いを致しましたところ、48名の皆様よりご寄付頂戴致しました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせていただきます。

時代の趨勢から寄付金は年々減っている傾向にあります。このような状況ですので、尚一層のご協力を賜りたいと存じます。本年度も同窓会会員の皆様ならびに旧教職員の方々にご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。ご寄付の際は、払込取扱票の金額、ご依頼人の欄および通信欄を記入のうえ郵便局にて払い込み下さるようお願い致します。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が参加費を納入する場合にもお使いいただけます。その際は必ず通信欄の総会参加費に〇を付けて、払い込み下さるようお願い致します。

### 営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備  
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備  
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

## 田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1  
☎ (024) 945-2882 FAX (024) 946-2875  
E-mail: tamura-t01@isis.ocn.ne.jp

プロバングス・灯油販売・水道工事・下水道工事  
フレンドホーム 正しい家づくり 通気断熱SII工法  
冷暖房設備工事・新築・リフォーム

SHIN SAN 株式会社 新産  
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4  
TEL (024) 922-4815 TEL (024) 934-1430  
ホームページ http://www.sin3.jp  
E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp



バレーボール部



陸上競技部



野球部



バドミントン部



ソフトテニス部



ソフトボール部



柔道部



水泳部

### 台湾の高校生との交流

平成20年4月23日、台湾・台北市立大安(ダーアン)高級工業職業学校の生徒35名が来校しました。

歓迎セレモニーと大安生徒によるパフォーマンス披露の後、本校生徒との授業交流が行われました。



生徒会長による歓迎のことば



お互いに友好を誓う



本校の部活動紹介



意見交換



授業交流 (化学工学科)

### ゴルフコンペのご案内

●平成21年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事まで御連絡ください。

●日 時:平成21年7月4日(土) ●場 所:宇津峰カントリークラブ

●定 員:20名

●申 込:コンペ幹事

①橋本正喜(西42機械)  
中国レストラン龍宮城  
電話 024(946)3171

②笹山忠昭(北53機械)  
ヒッツマテリアル(株)  
電話 024(947)5805 FAX 024(947)5804  
アドレス:hits-ts@forest.ocn.ne.jp

### 事務局だより

本年度も皆様のご協力により会報を発行する事ができました。心より感謝申し上げます。

世の中の少子化現象の波は我が北工にも及び、環境システム科が平成20年度より募集停止となり6学科7クラス体制となりました。ご存じの様に、同窓会は入学生と卒業生の会費で運営されています。この不況のなか同窓会では経費節減に努めていた矢先でした。募集停止による学級減は同窓会に少なからぬ影響を与えることとなりました。

会報送付につきましては、折目なくそのまま会報が届くよう平成18年度よりA4サイズの封筒にし、また、一般寄付の郵便払込取扱票も同封しました。皆様方の心温まるご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

旧職員の方には、同窓生と同時に会報を送付させていただきました。会報第59号を持ちまして定期総会のお知らせに替えさせていただきます。また、同封しました一般寄付に於いても何卒ご協力を宜しくお願い致します。

発行所 福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
〒963-8052  
福島県郡山市八山田二丁目224番  
☎ 024(932)1199 FAX 024(935)9849

発行人 増子 久治  
発行部数 18,000部  
発行日 平成21年2月27日

国交大臣許可(特-16)第9138号

ISO9001 認証  
JQA-QM3974

株式会社 **オオバ工務店**

代表取締役社長 大場 俊之

本 社/郡山市富田町字権現林3-4 TEL024-961-6500(代)

FAX024-961-6501

営業所/東京・福島・白河



http://www.c-daiwa.co.jp  
株式会社 クリエイティブダイワ